

河井寛次郎

柳宗悦

鍵善良房

白洲正子

武者小路実篤

川端康成

黒澤明

目利きと匠の邂逅

# 黒田辰秋の世界

生誕  
110年

2014年2月1日(土) - 3月10日(月)

開館時間 午前10時 - 午後8時 \*入館は閉館の30分前まで

入館料 大人1000(800)円、大学・高校生800(600)円、中学生以下無料 \*消費税含む

\* ( ) 内は前売および20名さま以上の団体料金

\* 前売券はそごう美術館。または、セブンイレブン、ローソンチケットにてお取扱いしております。

\* 陣営者手数をお持ちの方、およびご同伴者1名さまは( ) 内料金にてご入館いただけます。

主催: そごう美術館 後援: 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会 特別協力: 社界文化社 協力: 北海道立旭川美術館

協賛: 国際家具デザインフェア旭川開催委員会、(株)そごう・西武

そごう美術館 [横浜駅東口 そごう横浜店6階]

拭漆膠大平椀、拭漆三段重箱、拭漆楓(白州家家致入)、拭漆梅茶托、拭漆櫻小匙(全て旧白洲邸 芸相佐蔵)



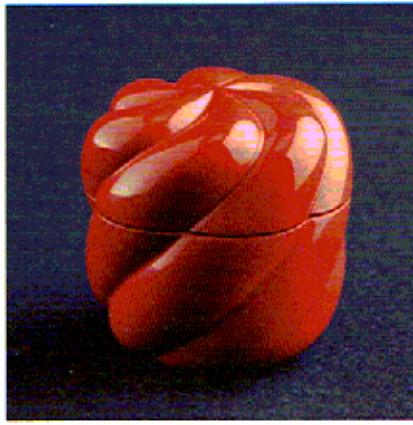
SOGO

横浜

電話 045(465)2111 大代表  
[www.sogo-gogo.com](http://www.sogo-gogo.com)



漆繪八角菓子重箱 (1933年 鍵善良房作)



朱漆六段盒 (昭和40年代 川端康成記念合藏)



朱漆羅貝螺銀錫十種水指 (1981年 黒田市美術館蔵)

## 黒田辰秋の世界

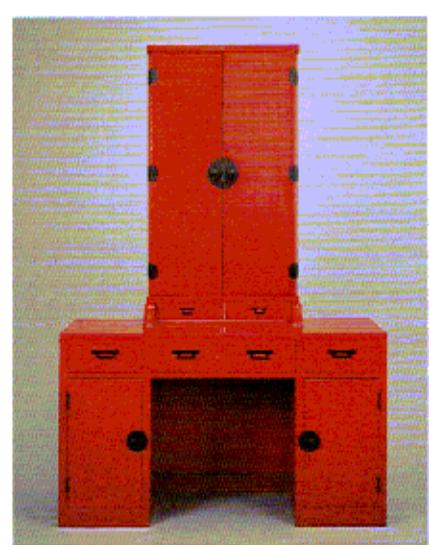
目利きと匠の邂逅



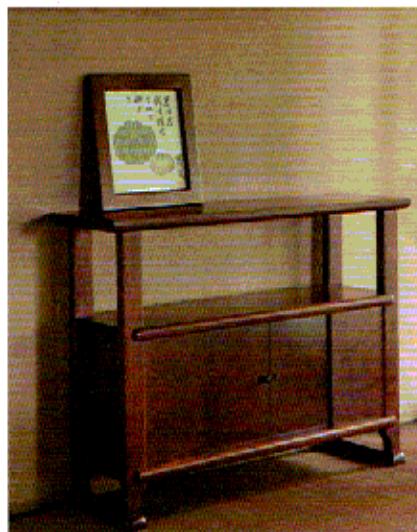
拭漆掛軸 (制作年不詳 横浜市武者小路実篤記念館蔵)



拭漆棒箱 (制作年不詳 個人蔵)



朱漆三面鏡 (1931年 日本国藝館蔵)



拭漆飾棚 (制作年不詳 横浜市武者小路実篤記念館蔵)

木工作家黒田辰秋は、1904(明治37)年に京都の塗師屋の家に生まれました。幼いころから木工の世界に憧れていますが、当時の漆芸界の分業制に疑問を抱いて、木地から仕上げまでの一貫制作を志し、独学で制作を始めます。大正末期には、柳宗悦、河井寛次郎らとの出会いにより、民藝運動に参加。その後、京都の老舗菓子店「鍵善良房」から店舗の室内装飾や作品を注文されるなど、徐々に黒田の名は世に知られていきました。昭和40年代には、昭和新宮殿の家具や室内装飾品の依頼を受け、そして1970(昭和45)年に木工芸における重要無形文化財(人間国宝)に指定されて、黒田は最晩年まで精力的に活動を続けました。

黒田の木工作品における技法は、拭漆、朱漆、螺鈿、乾漆など多岐にわたり、そのどれもが力強い存在感を持ち、美しいたたずまいを見せる品々です。こうした黒田作品に魅了され、川端康成、小林秀雄、武者小路実篤といった文士たちは、小箱や紙刀などを座右に置いて日々愛用しました。また、同じく黒田の作品に魅せられた白洲正子は、食器などを常用するとともに、黒田にとって初となる作品集を編集・執筆しています。さらに、映画監督の黒澤明は別荘用の家具一式を注文しました。黒田作品の愛用者の多くは、骨董や美術品のコレクターとしても知られた、当代の目利きと呼ばれた人々です。彼らの研ぎ澄まされた眼が、黒田の作品の美しさに気付き、作品を愛用したのだといえるでしょう。

本展では、家具、茶道具、食器類などを中心に木工作品約90点を展覧いたします。さらに黒田作品を愛用したゆかりの人々との交流に焦点を当て、彼らとの関わりや愛蔵品を紹介します。木工の匠が極めた造形美、存在感あふれる作品の数々をご鑑賞ください。

### ●連続記念講演会&対談

#### ①「人間国宝 黒田辰秋」

講師:諸山正則氏(東京国立近代美術館主任研究員)

日時:2014年2月16日(日)午後2時から

#### ②「対談 黒田辰秋は民藝の作家なのか?」

講師:山下裕二氏(明治学院大学教授)&

尾久彰三氏(元日本民藝館学芸部長)

日時:2014年2月23日(日)午後2時から

#### ③「対談 鍵善良房と黒田辰秋」

講師:今西善也氏(御菓子司鍵善良房店主)&当館学芸員

日時:2014年3月2日(日)午後2時から

#### ④「白洲正子、小林秀雄らが惹かれた黒田辰秋の魅力」

講師:青柳恵介氏(古美術評論家)

日時:2014年3月9日(日)午後2時から

場所:そごう美術館展示室内

定員:各回60名さま(事前申込み、先着順)

参加費:各回500円(消費税含む。別途入館料が必要になります。)

\*全4回のうち1回以上お申込みいただいた方は、2回目以降の入館料が無料となります。

\*お申込みはそごう美術館までお電話ください。

<そごう美術館直通:045-465-5515>

### ●学芸員によるギャラリートーク

第2、第4土曜日(2月8日、2月22日、3月8日)午後2時から

そごう美術館【横浜駅東口 そごう横浜店6階】

郵便番号220-8510 横浜市西区高島2-18-1

電話045-465-5515(美術館直通) <http://www.sogo-gogo.com/museum/>